

-----4月7日-----

※ 今週のアウトルック (4/7~4/11)

先週は米国雇用統計の強い結果予想をもとに、発表前まで円安が進みましたが、発表後、予想ほど強い数字ではなかったため失望感を誘い、大きく下落してNY市場を終了しました。

今週は、週初に失望感を背景とした円買いは、ある程度予想されるものの、米国景気回復に対する基本的な見方に変化はないため、売り一巡後は、再びリスクオン体制の始動が見込まれます。

先週ドル円は、米国雇用統計の強い結果予想を背景に、104円台まで円安が進みましたが、予想よりも実際の結果が弱かったため、その後失望売りが進みました。

今週はある程度後遺症は残るものの、基本的なリスクオン姿勢には、変化が見られないため、再び104円から105円のレンジにトライする可能性が、強いように思います。

ドル円の予想レンジは102.5円から104.5円です。

ユーロドルは、1.37付近のサポートラインでなんとか踏みとどまっているものの、再上昇の兆しは、まだ見えていないように思います。

今週はまだ方向感が定まらない動きとなるかもしれません。

ユーロ円もしばらくは、140円から143円付近のレンジ的な動きになる可能性が、出てきているように思います。

ユーロ円の予想レンジは140円から144円です。

ポンドドルは、再び短期的には下落する可能性が出ていきいます。

その動きと合わせて、ポンド円も168円から173円付近の動きとなる可能性が、高くなっているように思います。

ポンド円の予想レンジは168円から173円です。

再び米国を中心とした経済状況に、関心の目が集まってきているように思います。徐々にリスクオンセンチメントが強まってくる可能性も、

少し高くなってきているように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。